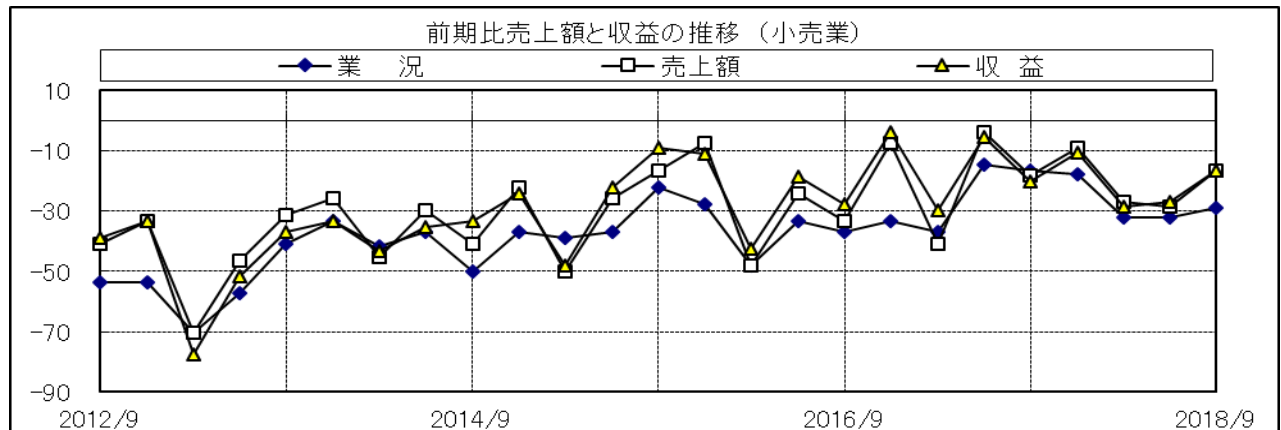


小 売 業 55 企 業（回答率 100%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期 実 績
業 況	-32.1	-32.0	-29.1	-23.6
売上額	-26.8	-28.6	-16.5	-12.7
収 益	-28.7	-26.8	-16.5	-10.9

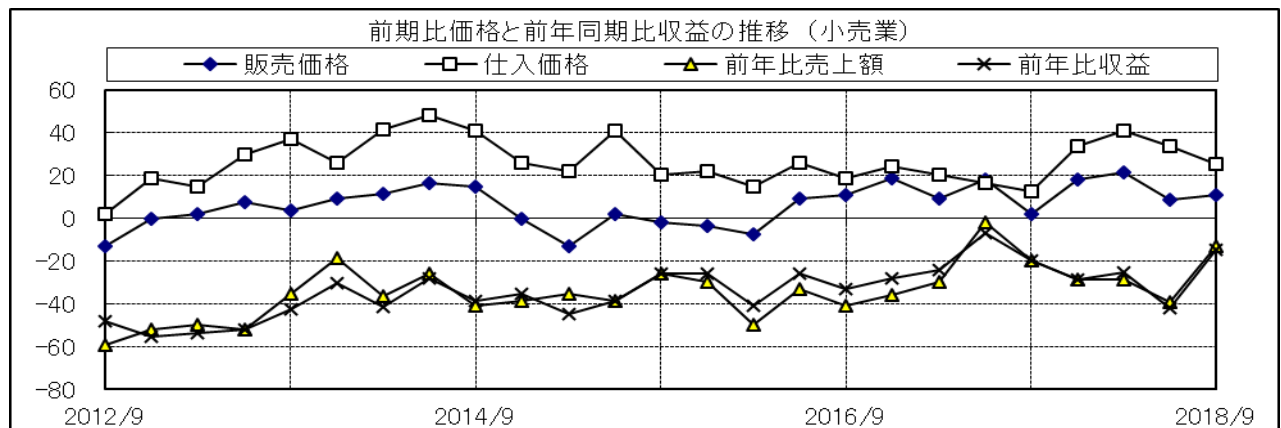
今期の業況判断 D. I. は△29.1 で、前期比 2.9 ポイント上昇、前年(△16.4)比では 12.7 ポイント下降した。地区別の D. I. は高い順に、静内、えりもが同率で最も高く、三石、様似、浦河と続き、広尾が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は△16.5 で、前期比 12.1 ポイント上昇。収益判断 D. I. は△16.5 で、前期比 10.3 ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期と比べた動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期見通し
販売価格	21.4	8.9	10.9	5.4
仕入価格	41.1	33.9	25.4	16.3

販売価格判断 D. I. は 10.9 で前期比 2.0 ポイント上昇、前年(1.8)比で 9.1 ポイント上昇した。仕入価格判断 D. I. は 25.4 で前期比 8.5 ポイント下降、前年(12.7)比で 12.7 ポイント上昇した。業種別の価格は、衣料品が販売・仕入ともに横這い。食料品は販売は横這い、仕入が上昇した。家電品は販売が上昇し、仕入が下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期 実 績	4～6 月 期 実 績	7～9 月 期 実 績	10～12 月 期見通し
残業時間	-10.7	-5.4	-1.8	-5.5
人手状況	-16.1	-14.3	-10.9	-12.7

残業時間判断 D. I. は△1.8 で、前期比 3.6 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は△10.9 で、前期比 3.4 ポイント上昇、人手不足感が弱まった。

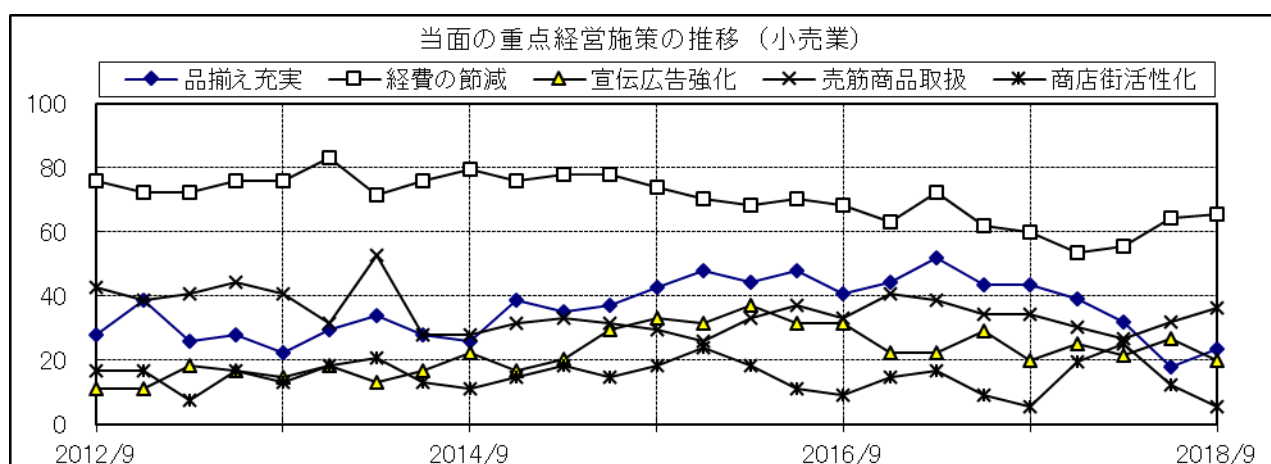
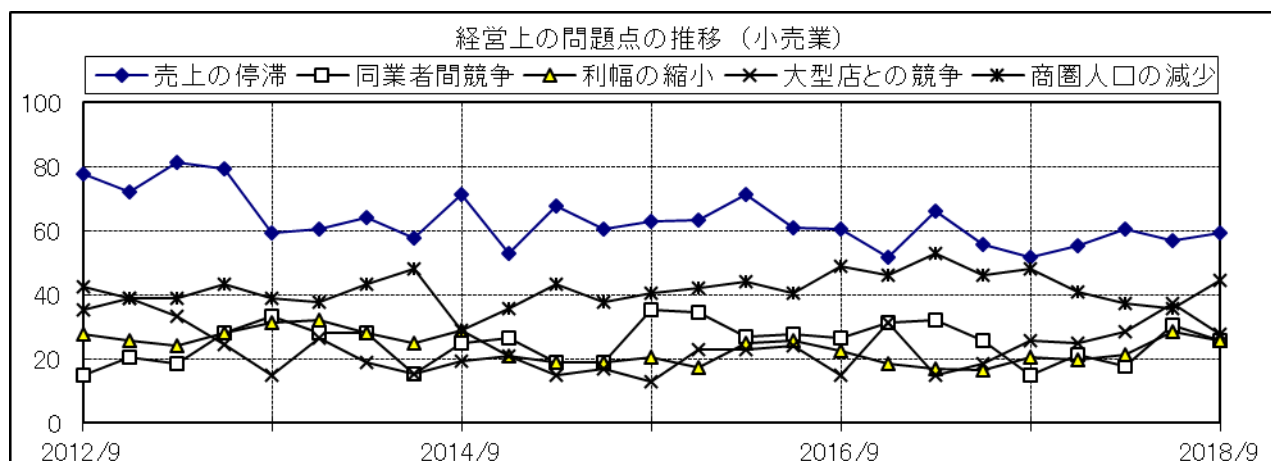
□ 設備投資の動き

設備投資の充足感を示す D. I. は△16.4 で、前期(△10.7)比で 5.7 ポイント下降した。

設備実施企業割合は 1.8 で、前期(3.6)比で 1.8 ポイント下降した。設備投資は、前期 2 社に対し 1 社の実施となった。来期の設備投資の予定は 4 社となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が 59.3%と最も多く、「商圈人口減少」44.4%、「大型店競合」27.8%、「同業者競合」・「利幅縮小」が 25.9%、「商店街集客力低下」14.8%、「値上要請」9.3%、「人件費増加」・「諸経費増加」・「取引先減少」・「天候不順」が同率の 7.4%となっている。重点経営施策では、「経費節減」が 65.5%と最も多く、「売れ筋商品取扱」36.4%、「品揃え改善」23.6%、「宣伝広告強化」20.0%、「仕入先開拓選別」14.5%、「人材確保」10.9%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断 D. I. は△23.6 と、今期比 5.5 ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断 D. I. は△12.7 と、今期比 3.8 ポイントの上昇を見通している。

予想収益判断 D. I. は△10.9 と、今期比 5.6 ポイントの上昇を見通している。

予想販売価格判断 D. I. は 5.4 と、今期比 5.5 ポイントの下降を見通している。

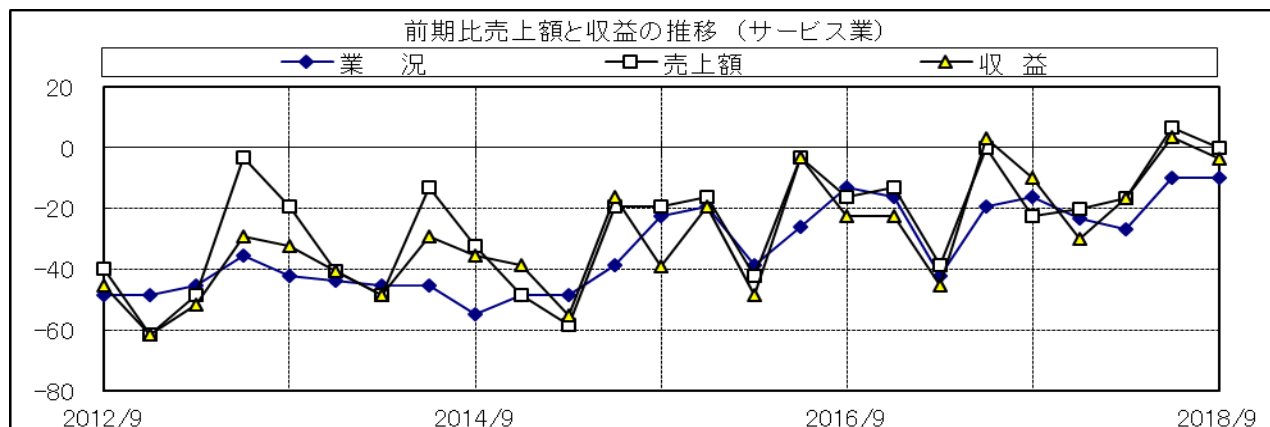
予想仕入価格判断 D. I. は 16.3 と、今期比 9.1 ポイントの下降を見通している。

サービス業 30 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 概 況

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
業 況	-26.7	-10.0	-10.0	0.0
売上額	-16.7	6.7	0.0	0.0
収 益	-16.6	3.4	-3.4	-10.0

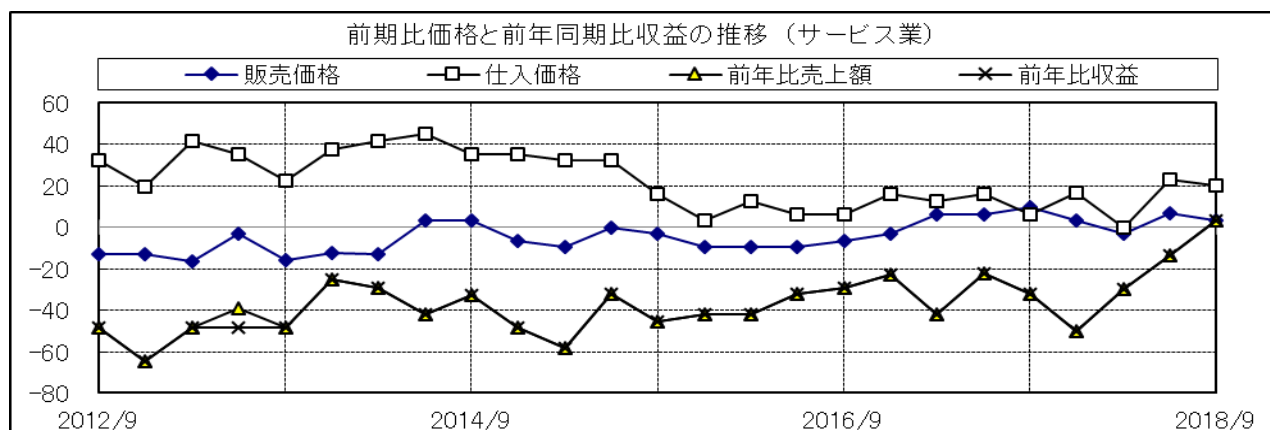
今期の業況判断 D. I. は $\Delta 10.0$ で、前期と同水準、前年 ($\Delta 16.2$) 比で 6.2 ポイント上昇した。地区別の D. I. は、えりもが最も高く、広尾、静内が同率で続き、次に浦河、三石となり、様似が最も低い水準となった。売上額判断 D. I. は 0.0 で、前期比 6.7 ポイント下降した。収益判断 D. I. は $\Delta 3.4$ で、前期比 6.8 ポイント下降した。



□ 価格面の動きと前年同期に比した動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
料金価格	-3.3	6.7	3.3	6.7
材料価格	0.0	23.3	20.0	16.7

料金価格判断 D. I. は 3.3 で、前期比 3.4 ポイント下降、前年 (9.7) 比では 6.4 ポイント下降した。材料価格判断 D. I. は 20.0 で、前期比 3.3 ポイント下降、前年 (6.5) 比で 13.5 ポイント上昇した。業種別では、旅館業が料金は横這い、材料は上昇。洗濯理美容業は料金・材料ともに下降。自動車整備業は料金が上昇、材料は下降した。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	1～3 月 期実績	4～6 月 期実績	7～9 月 期実績	10～12 月 期見通し
残業時間	-6.7	0.0	6.7	-3.4
人手状況	-10.0	-13.3	-13.3	-10.0

残業時間判断 D. I. は 6.7 で、前期比 6.7 ポイント上昇、残業時間が増加したとする企業割合が増えた。

人手過不足判断 D. I. は $\Delta 13.3$ で、前期と同水準で人手不足感に変動はなかった。

□ 設備投資の動き

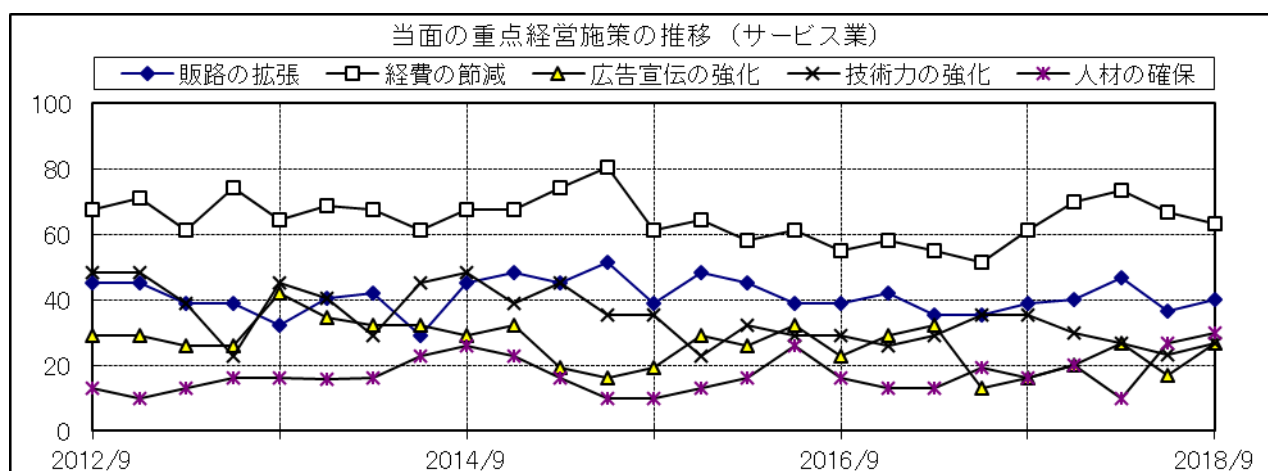
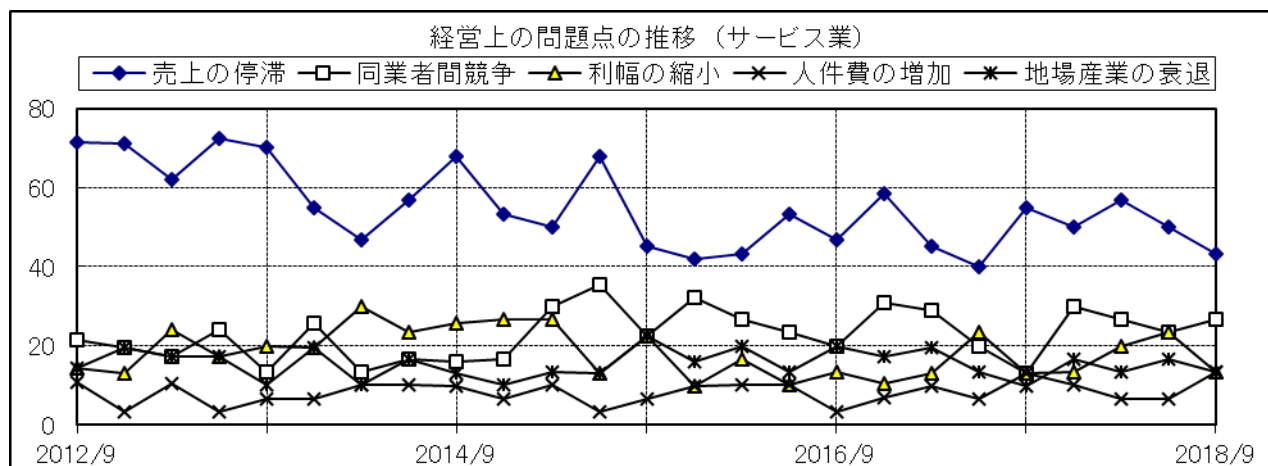
設備投資の充足感を示すD.I.は3.3で、前期(△6.7)比10.0ポイント上昇した。

設備投資実施企業割合は13.3で、前期(10.0)比3.3ポイント上昇した。設備投資は、前期3社に対し、4社の実施となった。来期の設備投資は3社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」が43.3%と最も多く、「商圈人口減少」40.0%、「人手不足」30.0%、「同業者競争」26.7%、「材料価格上昇」16.7%、「利幅縮小」・「人件費増加」・「地場産業衰退」13.3%、「技術力不足」・「取引先減少」10.0%、「大手企業競争」・「諸経費増加」6.7%となっている。

重点経営施策では、「経費節減」が63.3%と最も多く、「販路拡大」40.0%、「人材確保」30.0%、「技術力強化」・「宣伝広告強化」26.7%となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は0.0と、今期比10.0ポイントの上昇を見通している。

予想売上額判断D.I.は0.0と、今期と同水準を見通している。

予想収益判断D.I.は△10.0と、今期比6.6ポイントの下降を見通している。

予想料金価格判断D.I.は6.7と、今期比3.4ポイントの上昇を見通している。

予想材料価格判断D.I.は16.7と、今期比3.3ポイントの下降を見通している。